

# 部分床義歯補綴学 (C4020)

第4学年（前期）  
講義 必修

## 【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘  
講師：笠原隼男、吉田裕哉  
助教：霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏  
非常勤講師：古屋純一

## 【一般目標（GIO）】

有床義歯が、多数歯欠損に対し口腔内の形態、機能、審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、部分床義歯補綴の臨床術式と製作に必要な理論を習得する。

## 【行動目標（SBOs）】

1. 欠損歯列の病態について理解する。
2. 部分床義歯の構成要素とそれぞれの役割について理解する。
3. 部分欠損歯列患者の診察・診断・治療計画の立案の基礎について理解する。
4. 部分床義歯の設計について理解する。
5. 部分床義歯の臨床手技について理解する。
6. 部分床義歯の技工操作について理解する。
7. 部分床義歯装着患者の義歯装着後の経過について理解する。

## 【教科書・参考書】

【教科書】 藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）\*  
赤川安正ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）  
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）  
宮崎 隆ほか：「スタンダード歯科理工学－生体材料と歯科材料－（第7版）」（学建書院）#  
【参考書】 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学研書院）\*  
市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）\*  
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）\*  
山下秀一郎ほか：「有床義歯補綴学」（永末書店）  
森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）  
佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）  
（\* 3年次に購入済み、# 2年次に購入済み）

## 【教育（学習）方略（LS）】

授業は教科書の内容とスライドを中心に適宜板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。

Weekly Test では1回の授業につき、3問～4問出題する。

## 【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

## 【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・中間試験・定期試験成績：65%
- ・受講態度：5%
- ・Weekly Test：30%

欠席は特別な理由がない限り認めない。欠席回数は大きく成績に反映させる。

試験は中間試験と定期試験を実施する。

中間試験の日程は別途掲示する。定期試験は前期定期試験期間中に実施する。

再試験の試験範囲は、講義で取り扱った内容と該当する教科書の内容すべてとする。

**【注意事項】**

1. 欠席は特別な理由がない限り認めない。
2. 3年次に学習した歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学の内容を理解していることを前提に講義が進行するので、歯科補綴学総論と全部床義歯補綴学で学習した内容を随時復習すること。
3. 1日につき2コマ講義があるため注意すること。

**【準備学習時間（予習・復習）】**

60分

予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分)

復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。(45分)

**【オフィスアワー】**

講義終了時から当日17：30まで

樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、古屋純一：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

黒岩昭弘：本館4階西棟 理工学講座教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

## 【授業日程】

部分床義歯補綴学				
第4学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	3月27日(水) 1時限	全部床義歯補綴学の復習1	全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
2	3月27日(水) 2時限	全部床義歯補綴学の復習2	全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
3	4月3日(水) 1時限	部分床義歯補綴学1 部分床義歯補綴学概論	部分的な歯の欠損とその治療の目的について説明できる。 歯の欠損に対する補綴治療の分類について説明できる。 部分床義歯の評価項目を説明できる。	樋口 大輔
4	4月3日(水) 2時限	部分床義歯補綴学2 歯の欠損に由来する顎口腔系の変化	歯の欠損に伴う顎口腔系の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。	吉田 裕哉
5	4月10日(水) 1時限	部分床義歯補綴学3 部分歯列欠損の様式	欠損歯列の分類法の必要性和臨床的意義を説明できる。	笠原 隼男
6	4月10日(水) 2時限	部分床義歯補綴学4 部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。	笠原 隼男
7	4月17日(水) 1時限	部分床義歯補綴学5 部分床義歯に生じる力への対応	義歯に加わる力を説明できる。 支台歯と顎堤の負担能力について説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。	笠原 隼男
8	4月17日(水) 2時限	部分床義歯補綴学6 支台装置1 クラスプ	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。	笠原 隼男
9	4月24日(水) 1時限	部分床義歯補綴学7 支台装置2 アタッチメント	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。	笠原 隼男
10	4月24日(水) 2時限	部分床義歯補綴学8 連結子 床	連結装置の役割と所要条件を説明できる。 大連結子の種類、特徴を説明できる。 義歯床の役割と要件を説明できる。	笠原 隼男
11	5月1日(水) 1時限	問題演習1	これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
12	5月1日(水) 2時限	部分床義歯補綴学総論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	笠原 隼男
13	5月8日(水) 1時限	部分床義歯補綴学9 部分床義歯補綴治療の概略 部分床義歯の分類 診察・診断	部分床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。 医療面接、インフォームドコンセントを説明できる。 診察項目を説明できる。 治療計画の基本的順序と左右する因子、提示方法を説明できる	笠原 隼男
14	5月8日(水) 2時限	部分床義歯補綴学10 サベイング 義歯の設計原則 仮設計と本設計	サベイングの目的と技法を説明できる。 部分床義歯設計の基本原則と順序を説明できる。 仮設計と本設計を説明できる。	笠原 隼男

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	5月15日(水) 1時限	部分床義歯補綴学11 前処置 印象採得	広義の前処置と狭義の前処置を説明できる。 印象法の種類と特徴を説明できる。 印象材料について説明できる。 印象用トレーについて説明できる。	笠原 隼男
16	5月15日(水) 2時限	部分床義歯補綴学12 部分床義歯の咬合 顎間関係記録	部分床義歯の咬合について説明できる。 咬合採得の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。	笠原 隼男
17	5月22日(水) 1時限	部分床義歯補綴学13 咬合器と下顎運動1	顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な下顎位について説明できる。 下顎運動の特徴を説明できる。	笠原 隼男
18	5月22日(水) 2時限	部分床義歯補綴学14 咬合器と下顎運動2	咬合器の使用目的について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 咬合器への模型の装着および咬合器の調節方法について説明できる。	笠原 隼男
19	5月29日(水) 1時限	部分床義歯補綴学15 フレームワーク	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型の修正法を説明できる。 耐火模型の製作法を説明できる。 フレームワークの試適方法を説明できる。	笠原 隼男
20	5月29日(水) 2時限	部分床義歯補綴学16 人工歯排列 ろう義歯試適 埋没・重合	人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な人工歯排列方法を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。	笠原 隼男
21	6月5日(水) 1時限	部分床義歯補綴学17 部分床義歯の装着と調整	義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	笠原 隼男
22	6月5日(水) 2時限	部分床義歯補綴学18 部分床義歯の術後管理 リライン・リベース	装着後の顎堤粘膜、骨、咬合の変化とその管理について説明できる。 リライン、リベースについて説明できる。	笠原 隼男
23	6月12日(水) 1時限	部分床義歯補綴学19 義歯修理	義歯の破損の原因について説明できる。 義歯修理の直接法について説明できる。 義歯修理の間接法について説明できる。 咬合面再形成について説明できる。 粘膜調整について説明できる。	笠原 隼男
24	6月12日(水) 2時限	部分床義歯補綴学20 オーバーデンチャー さまざまな義歯	即時義歯、治療用義歯、暫間義歯について説明できる。 オーバーデンチャーの利点、欠点を説明できる。 顎義歯について説明できる。	笠原 隼男
25	6月19日(水) 1時限	臨床歯科理工学1 部分床義歯に関連する材料	補綴治療に用いる印象材料、石膏、ワックスの種類と性質、材料の適応を説明できる。 鑄造の概要と具体的な方法を説明できる。	黒岩 昭弘
26	6月19日(水) 2時限	臨床歯科理工学2 部分床義歯に関連する材料	人工歯・義歯用レジンの種類と性質、材料の適応を説明できる。 義歯に用いる金属材料の性質、材料の適応を説明できる。	黒岩 昭弘

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
27	6月26日(水) 1時限	補綴臨床の実際1 高齢者における補綴歯科治療	補綴歯科治療の実際を理解し、症例を分析・検討できる。 高齢者における補綴歯科診療時の注意点と補綴装置設計について説明できる。 訪問歯科診療を説明できる。	古屋 純一
28	6月26日(水) 2時限	補綴臨床の実際2 有床義歯による補綴歯科治療	補綴歯科治療の実際を理解し、症例を分析・検討できる。	笠原 隼男
29	7月3日(水) 1時限	問題演習2	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	樋口 大輔 吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
30	7月3日(水) 2時限	部分床義歯補綴学各論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	笠原 隼男